

～変革と成長～
2022年3月期第2四半期
決算説明会資料



2021年11月2日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画の進捗状況

2 経営成績の詳細

3 補足資料

4 セグメント別データ

1 中期経営計画の進捗状況

経営成績サマリー

- 世界経済の回復を引き続き着実に取り込み、幅広い事業領域で前年同期比大幅な増益
- 基礎営業キャッシュ・フロー、当期利益共に上半期として過去最高を更新
- 堅調な業績を受け、通期業績予想を上方修正。期末配当金を5円増配の50円(年間95円)
- 世界経済の回復進捗と商品市況は要注視

(単位：億円)

	2021年3月期 上半期実績	2022年3月期 上半期実績	増減	2022年3月期 従来予想 21年8月公表	進捗率
基礎営業キャッシュ・フロー*	2,741	5,269	+2,528	9,000	59%
当期/上半期利益	1,100	4,046	+2,946	6,400	63%

* 営業活動に係るキャッシュ・フロー (22/3期上半期: 3,072億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (同: ▲2,476億円) - リース負債の返済による支出額 (同: 279億円)

通期業績予想を以下の通り修正

- 基礎営業キャッシュ・フロー 9,200億円 (従来予想比 +200億円)
- 当期利益 7,200億円 (従来予想比 +800億円)

2022年3月期の1株当たり中間配当金は45円、
期末配当金を50円に引き上げ (従来比5円増)

従来予想に対する進捗率

- グローバルな需要回復を受け、化学品、鉄鋼製品、食料のトレーディングが引き続き堅調
- ペントアップ需要が継続した自動車、患者数の回復とコロナ関連サービスが貢献した病院・ヘルスケア、市況が回復した船舶事業、FVTPL益も業績に貢献
- 上半期にLNGトレーディングに係るヘッジ目的のデリバティブ取引に関する会計上の評価損益を先行認識するも、エネルギーも通期では好調を見込む

基礎営業キャッシュ・フロー

	上半期実績	従来予想 21年8月公表	進捗率
金属資源	2,406	4,800	50%
エネルギー	871	2,000	44%
機械・インフラ	771	1,000	77%
化学品	435	550	79%
鉄鋼製品	54	50	108%
生活産業	221	300	74%
次世代・機能推進	266	300	89%
その他、調整・消去	245	0	—
全社 合計	5,269	9,000	59%

当期/上半期利益 (単位：億円)

上半期実績	従来予想 21年8月公表	進捗率
2,710	4,200	65%
▲48	700	0%
529	800	66%
276	400	69%
122	100	122%
209	200	105%
308	300	103%
▲60	▲300	—
4,046	6,400	63%

強固な事業基盤の確立

- グローバルな需要回復の取り込みを継続し、下半期も業績堅調を見込む。但し、半導体調達難などサプライチェーンの混乱や世界経済の回復進捗には要注視
- プロジェクトの着実な推進やポートフォリオの変革により、持続的な成長に向けた収益基盤の強化にも進捗有り

グローバルな 需要回復の 取り込み継続

- トレーディング事業（化学品・鉄鋼製品・食料）、自動車、食品製造事業は一部減速を見込むも、堅調な収益力を維持
- 金属資源は、高いコスト競争力とバランスの取れた事業ポートフォリオで需要拡大を取り込み、力強い収益力を維持
- エネルギーは、事業・トレーディング共に原油・ガス価格の上昇を着実に収益に繋げ、通期で業績に貢献する見通し

持続性のある 収益基盤の強化

プロジェクトの推進

- 豪州鉄鉱石 / South Flank鉄鉱山操業開始、Western Ridge鉄鉱床の新規権益取得（1Q）
- 豪Waitsiaガス田融資契約締結（1Q）
- FPSO MV30（Sepia）操業開始（2Q）

ポートフォリオの変革

- Moatize撤退完了、Collahuasi投資再編（1Q）
- 本州化学工業公開買付終了、欧州農薬販社Belchim子会社化（1Q）
- 三井物産アイ・ファッション、日鉄物産繊維事業の統合基本契約締結（2Q）
- Falcon発電事業 株式売買契約締結（2Q）

重点施策 Strategic Focusの進捗

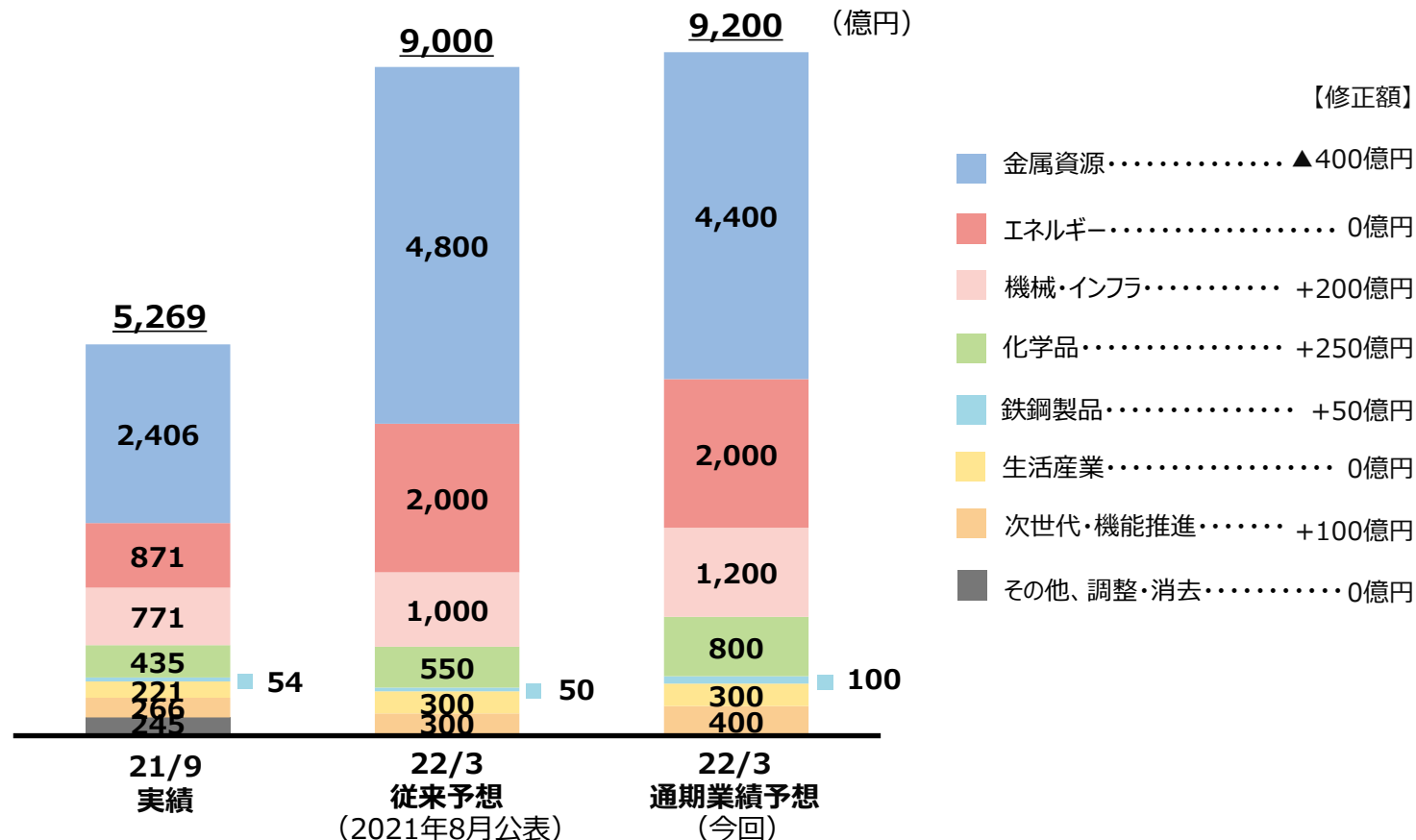
	案件名	進捗
1	 エネルギーソリューション ■ CCS/アンモニア製造 ■ 水素供給ステーション ■ バイオ燃料 ■ 排出権	■ 豪Waitsiaでのアンモニア生産を見据えたCCS事業化調査合意 ■ NZ燃料電池大型車両向けグリーン水素供給ステーション事業参画 ■ 印農業残渣サプライチェーンマネジメント企業PRESPLへの出資参画 ■ 豪州におけるカーボンソリューション事業に参入
2	 ヘルスケア・プラットフォームソリューション ■ IHH Healthcare ■ PHCホールディングス ■ Thorne	■ ポートフォリオ見直しやグループ間シナジー創出による経営基盤の強化、及びデジタルヘルスケアへの取り組みなど、成長戦略を実行中 ■ 上場及び株式の一部売却により投資の果実化を実現 ■ Nasdaq市場に上場
3	 マーケット・アジア ■ CT Corp	■ 総額1,000億円の転換社債引受完了 ■ CT Corp企業価値向上に向けて、取締役・出向者を差し入れ、経営基盤強化・国外市場進出・幅広い領域での共同事業開発等に着手

2022年3月期 業績予想(修正)

基礎営業キャッシュ・フロー：9,200億円に修正（従来予想比+200億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■ 化学品	:	+250億円	市況堅調による事業会社とトレーディング好調
■ 機械・インフラ	:	+200億円	自動車関連会社からの受取配当金増
■ 金属資源	:	▲400億円	鉄鉱石の商品価格前提及び税金関連の見直し

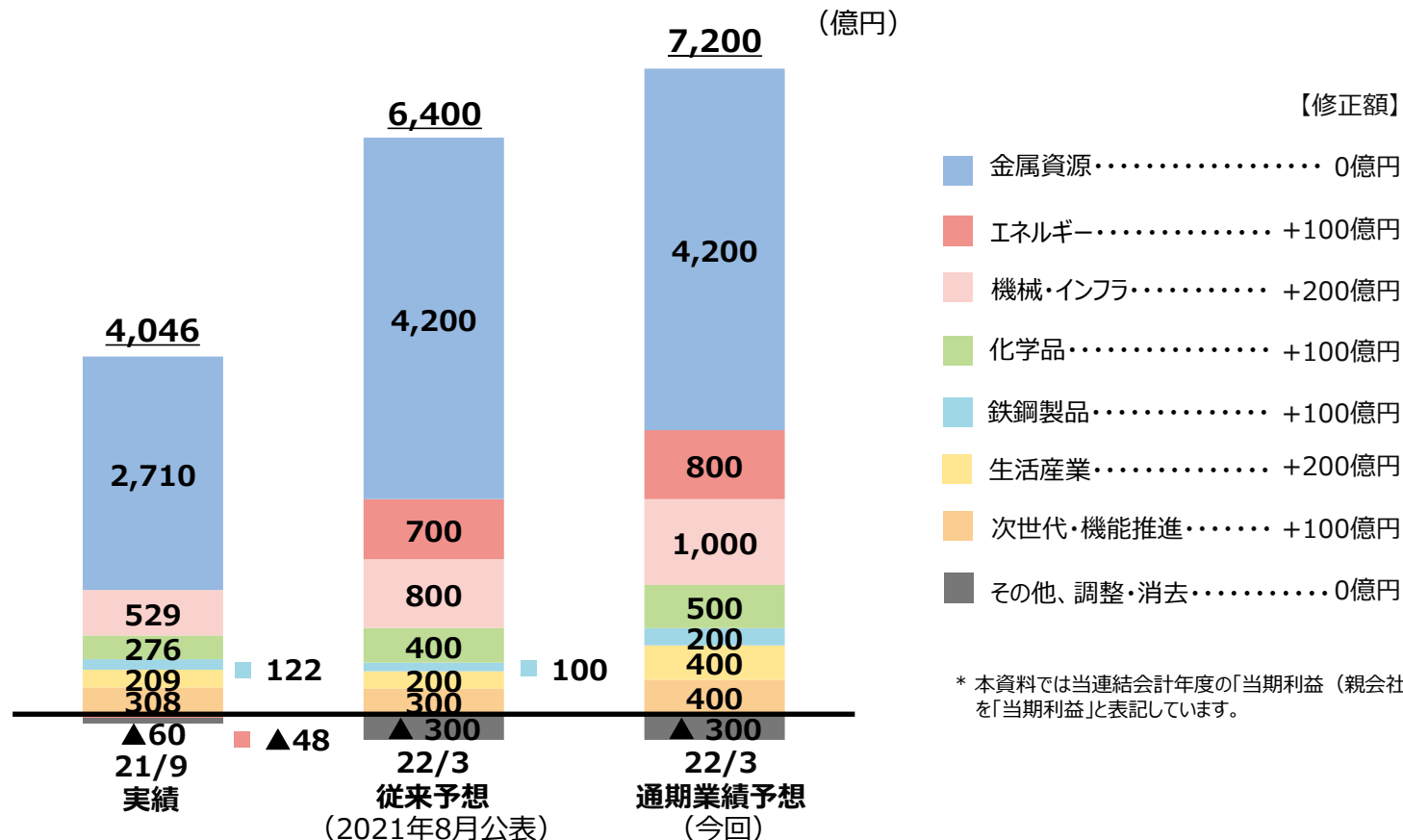


2022年3月期 業績予想(修正)

当期利益*：7,200億円に修正（従来予想比+800億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

- 機械・インフラ：+200億円 自動車・船舶事業好調
- 生活産業：+200億円 PHCホールディングス株式一部売却、食料トレーディングをはじめ食料事業堅調



キャッシュ・フロー・アロケーション

キャッシュ・フロー・アロケーションおよび資産リサイクル・投融資実績

(単位：億円)

		22年3月期 上半期実績	主な案件
キャッシュ・イン	基礎営業キャッシュ・フロー	5,250	－
	資産リサイクル*1	1,350	【金属資源】銅事業貸付金回収 【生活産業/化学品】日本マイクロバイオファーマの製造受託事業売却
キャッシュ・アウト	投融資*1	▲2,350	【生活産業/次世代・機能推進】CT Corp持株会社の転換社債引受*2 【エネルギー】石油・ガス生産事業、開発中LNG案件 【金属資源】豪州鉄鉱石・石炭事業 【次世代・機能推進】三井物産都市開発の不動産事業 【機械インフラ/エネルギー】発電事業
	株主還元*3	▲1,800	－

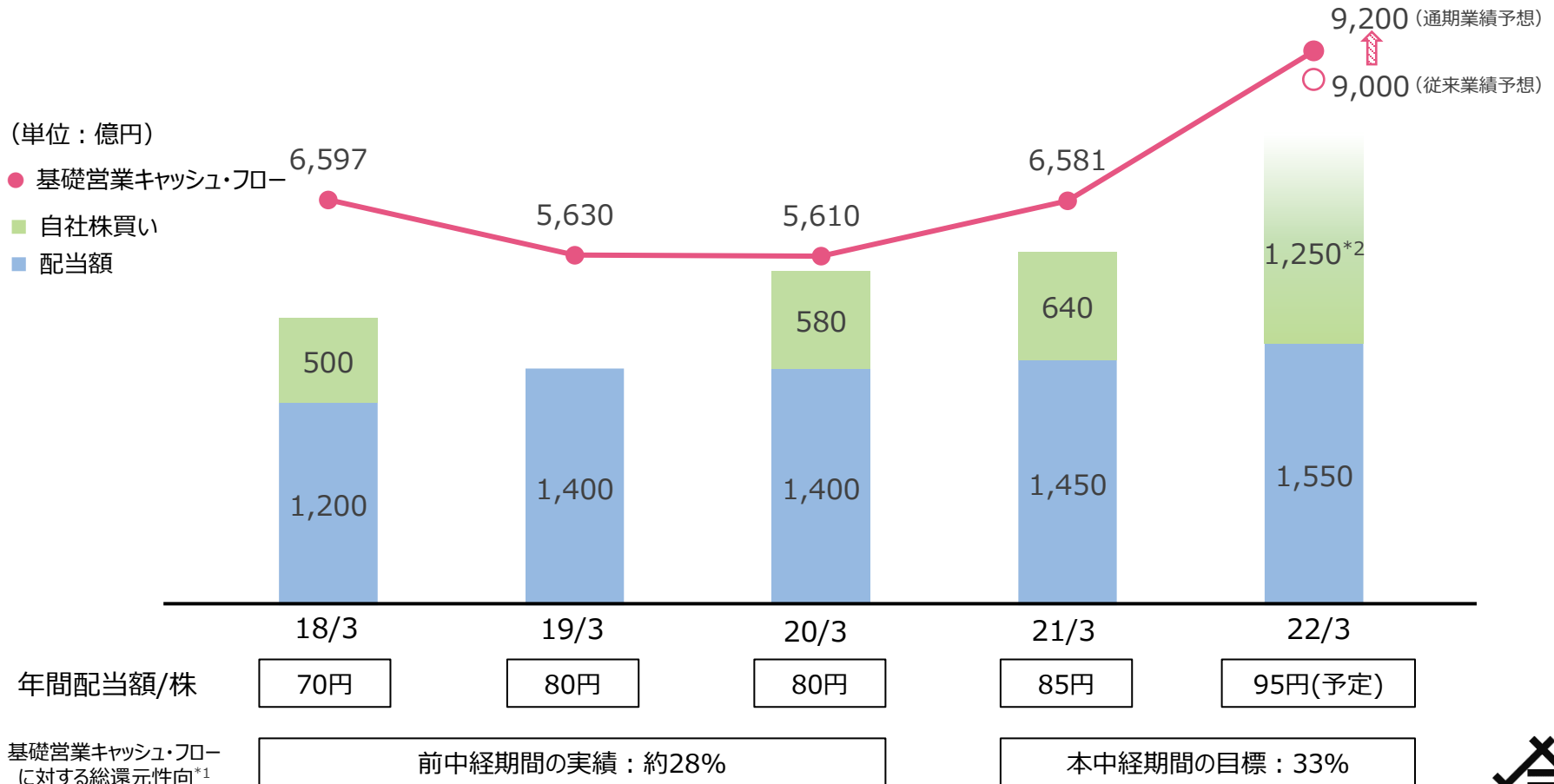
*1. 定期預金の増減は除く

*2. CT Corp持株会社の転換社債引受1,000億円と普通社債償還額330億円の純額670億円を投融資キャッシュ・アウトとして認識

*3. 自己株式の取得（21年4月に250億円、5～6月に500億円、8～9月に325億円）を含む

株主還元方針

- 機械・インフラ、化学品などの幅広い事業領域でのキャッシュ創出力の拡大を踏まえ、22年3月期の年間配当金を95円/株に引き上げ（従来比5円増、下限配当も95円に）
- 引き続き、キャッシュ創出力向上に応じて、還元の拡充を目指す



*1 株主還元総額÷基礎営業キャッシュ・フロー

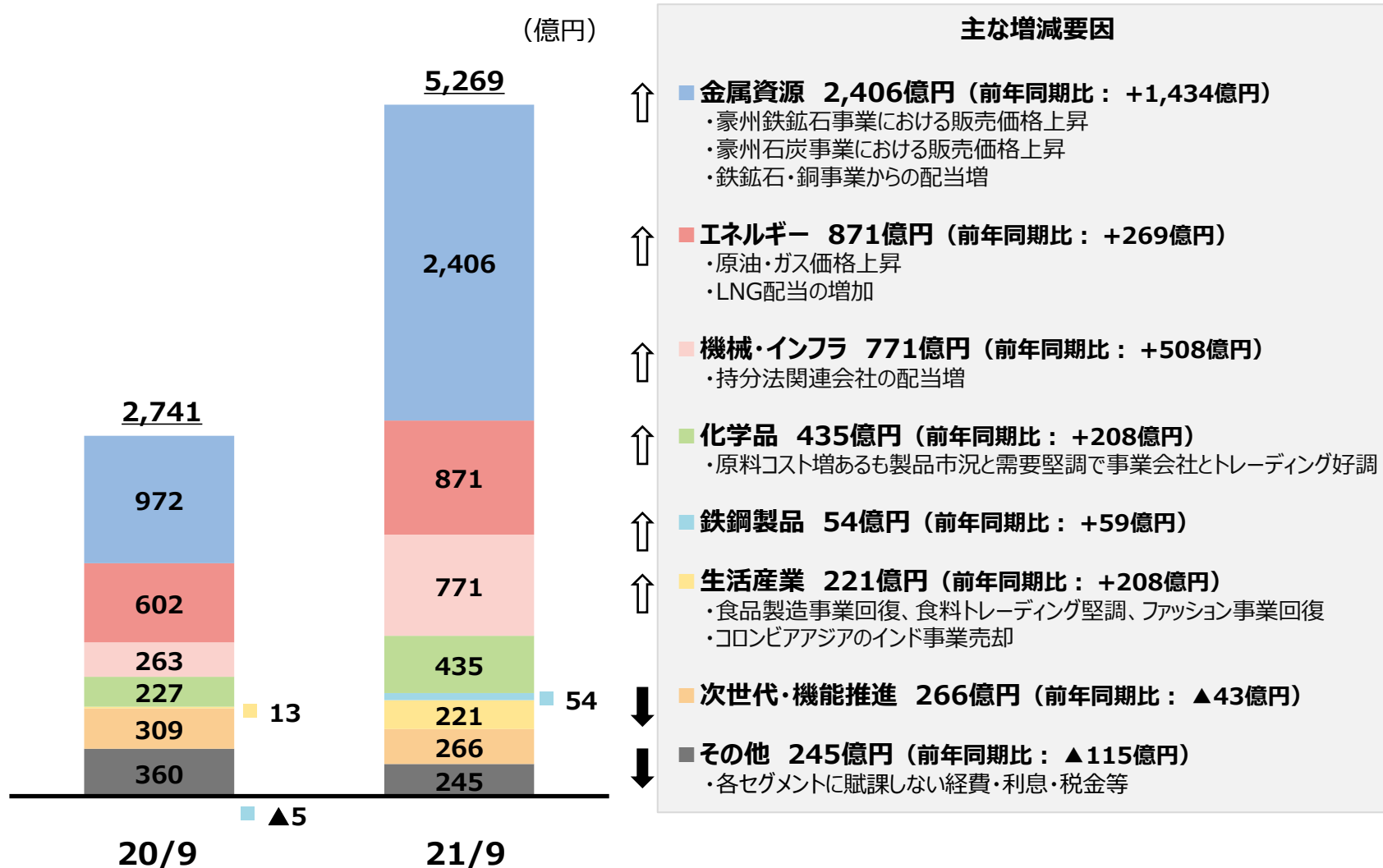
*2 10月分の自己株式取得も含む

2 経営成績の詳細

基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

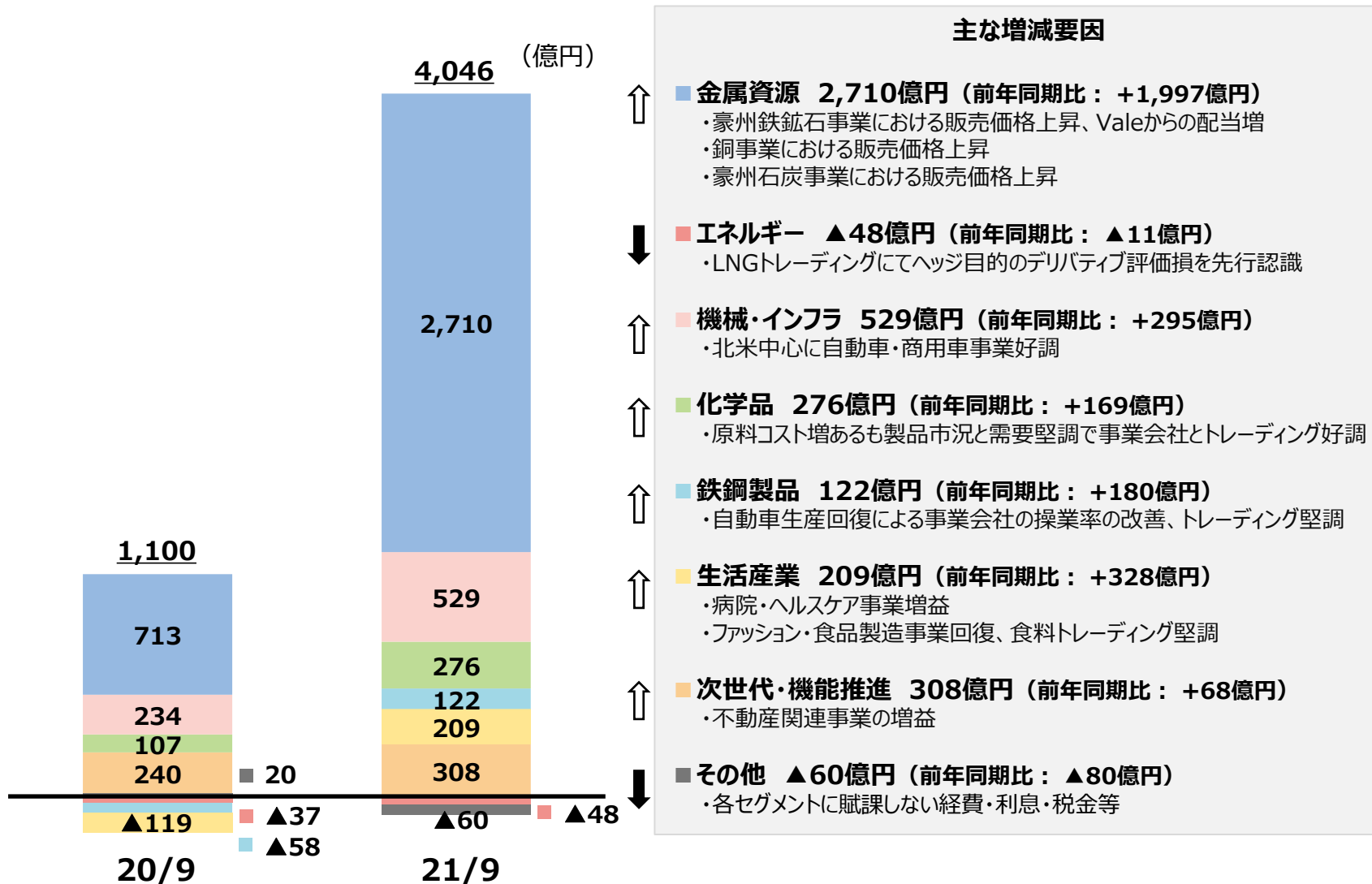
■ 基礎営業キャッシュ・フロー 5,269億円、前年同期比 +2,528億円

(億円)



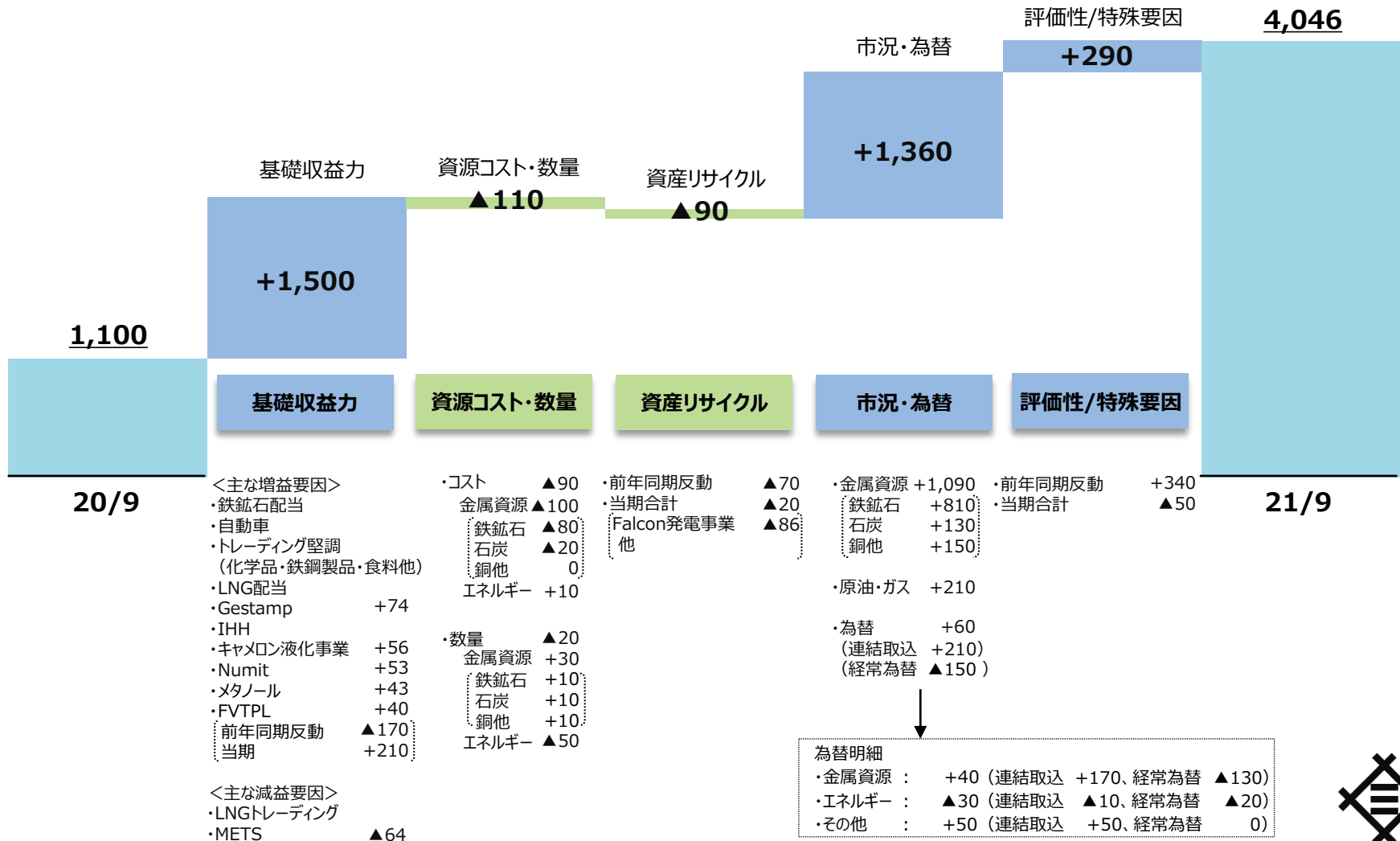
上半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 上半期利益 4,046億円、前年同期比 +2,946億円



上半期利益 要素別前年同期比 増減要因

(単位：億円)



財務戦略・ポートフォリオ経営の進化

バランスシート

(単位：兆円)

21/3

流動資産 4.2	その他負債 3.0
	長短債務*1 4.7 (3.3)
非流動資産 8.3	株主資本*2 合計 4.6
0.2	

非支配持分

総資産 12.5兆円
株主資本 4.6兆円
Net DER 0.72倍

21/9

流動資産 4.6	その他負債 3.3
	長短債務*1 4.7 (3.4)
非流動資産 8.4	株主資本*2 合計 4.7
0.3	

非支配持分

総資産 13.0兆円
株主資本 4.7兆円
Net DER 0.71倍

主な残高・増減

有利子負債*3 4.3兆円 (21/3末比：▲0.1兆円)
ネット有利子負債*4 3.4兆円 (21/3末比：+0.1兆円)

株主資本*2 4.7兆円 (21/3末比：+0.2兆円)

- ・ 上半期利益： +0.4兆円
- ・ 外貨換算調整勘定、FVTOCIの金融資産： ▲0.0兆円
- ・ 配当金の支払、自己株式の取得： ▲0.2兆円

*1. 長短債務のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を株主資本と表記

*3. 有利子負債は長短債務からリース負債を除外して計算

*4. ネット有利子負債は*3.有利子負債から現金及び現金同等物を控除して計算



MITSUI & CO.

3 補足資料

前提条件および感応度

価格変動の22/3期当期利益への影響額 (2021年4月公表)			22/3事業計画 (2021年4月公表)	22/3上半期 (実績)	22/3下半期 (前提)	22/3通期予想 (上・下平均値)
市況商品	原油/JCC	—	61	70	72	71
	連結油価(*1)	25 億円 (US\$1/バレル)	59	61	71	66
	米国ガス(*2)	11 億円 (US\$0.1/mmBtu)	2.74	2.85(*3)	4.66	3.76
	鉄鉱石(*4)	22 億円 (US\$1/トン)	(*5)	181(*6)	(*5)	(*5)
	石炭	原料炭	4 億円 (US\$1/トン)	160(*7)	(*5)	(*5)
		一般炭	1 億円 (US\$1/トン)	110(*7)	(*5)	(*5)
為替(*10)	銅(*8)	7 億円 (US\$100/トン)	7,650	9,095(*9)	9,186	9,140
	米ドル	26 億円 (¥1/米ドル)	105.00	110.10	109.00	109.55
	豪ドル	24 億円 (¥1/豪ドル)	80.00	82.33	79.00	80.67
	伯レアル	2 億円 (¥1/伯レアル)	19.00	21.19	20.00	20.59

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。

2022年3月期には約35%が4～6ヵ月遅れで、約60%が1～3ヵ月遅れで、約5%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクト。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) 米国ガスの2022年3月期上半期実績欄には、2021年1月～6月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*4) Valeからの受取配当金に対する影響は含まない。

(*5) 鉄鉱石・石炭の前提価格は非開示。

(*6) 鉄鉱石の2022年3月期上半期実績欄には、2021年4月～9月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値（参考値）を記載。

(*7) 石炭の2022年3月期上半期実績欄には、対日代表銘柄石炭価格（US\$/MT）の四半期価格の平均値を記載。

(*8) 銅価格は3ヶ月遅れで当社連結業績に反映される為、上記感応度は2021年3月～12月のLME cash settlement price平均価格がUS\$100/トン変動した場合に対するインパクト。

(*9) 銅の2022年3月期上半期実績欄には、2021年1月～6月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*10) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト及び一部海外出資先からの受取配当金の影響。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。関係会社における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯レアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

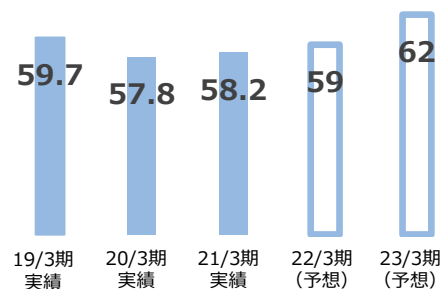
金属資源：持分権益生産量および生産量実績

持分権益生産量

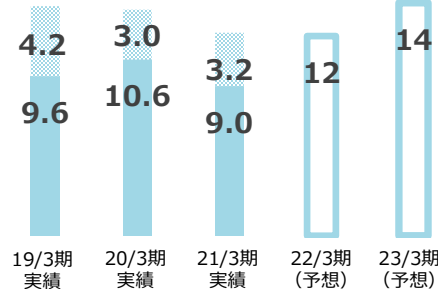
(2021年4月公表)

鉄鉱石*

(百万トン/年)

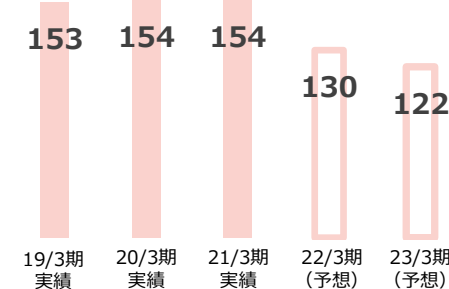


石炭*

(百万トン/年)
上段：一般炭
下段：原料炭

銅*

(千トン/年)



* Vale生産量は4月19日時点の公表データ前提

生産量実績

	21/3期					22/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.0	14.1	15.5	14.6	58.2	13.4	14.1	27.5
豪州鉄鉱石	10.7	10.3	10.6	9.9	41.5	9.6	9.8	19.4
Vale* ¹	3.3	3.8	4.9	4.7	16.7	3.8	4.3	8.1
石炭*² (百万トン)	2.9	3.1	3.1	3.2	12.2	2.8	3.0	5.8
MCH	1.8	1.9	1.9	2.0	7.6	1.9	1.9	3.8
BMC* ¹	0.5	0.5	0.5	0.4	1.8	0.4	0.5	0.9
豪州原料炭	1.9	1.9	1.9	2.0	7.6	1.8	2.0	3.8
豪州一般炭	0.4	0.5	0.5	0.4	1.8	0.5	0.4	0.9
Moatize* ¹	0.3	0.2	0.2	0.2	0.8	0.2	—	0.2
銅*^{1, 2} (千トン)	37.7	40.4	38.1* ³	37.3	153.5	32.2	33.6	65.8

*1. Vale、BMC、Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

*2. Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%, 2019/3 4Q以降:5.6%, 2022/3 2Q:5.7%)等を含む

*3. 2021年4月修正 (3Q:38.7→38.1)

金属資源：主な事業一覧

商品	案件名*1	所在国	2021年3月期 持分生産量	主なパートナー	当社出資比率*4	当社収益認識
鉄鉱石	Robe River	豪州	21.4百万トン	Rio Tinto	33.0%	連結(一部持分法)
鉄鉱石	Mt. Newman / Yandi / Goldsworthy / Jimblebar	豪州	20.1百万トン	BHP	7.0%	連結(一部受取配当金)
鉄鉱石	Vale	伯国	16.7百万トン*2	Vale	5.85%*6	受取配当金
石炭	South Walker Creek / Poitrel	豪州	1.8百万トン*2	BHP	20.0%	持分法
石炭	Kestrel	豪州	1.1百万トン*2	EMR / Adaro	20.0%	連結
石炭	Moranbah North / Grosvenor / Capcoal / Dawson	豪州	6.5百万トン	Anglo American	Various	連結
石炭	Moatize / Nacala*5	モザンビーク	0.8百万トン*2	Vale	Moatize : 約15% Nacala : 約50%	Moatize : 受取配当金 Nacala : 持分法
銅	Collahuasi	チリ	69.4千トン*2	Anglo American Glencore	12.0%	持分法
銅	Anglo American Sur	チリ	35.3千トン*2	Anglo American Codelco	9.5%	持分法
ニッケル	Coral Bay	フィリピン	3.4千トン*3	住友金属鉱山	18.0%	持分法
ニッケル	Taganito	フィリピン	4.6千トン*3	住友金属鉱山	15.0%	受取配当金

*1. JV名、企業名、プロジェクト名を含む

*2. 2020年1-12月の実績

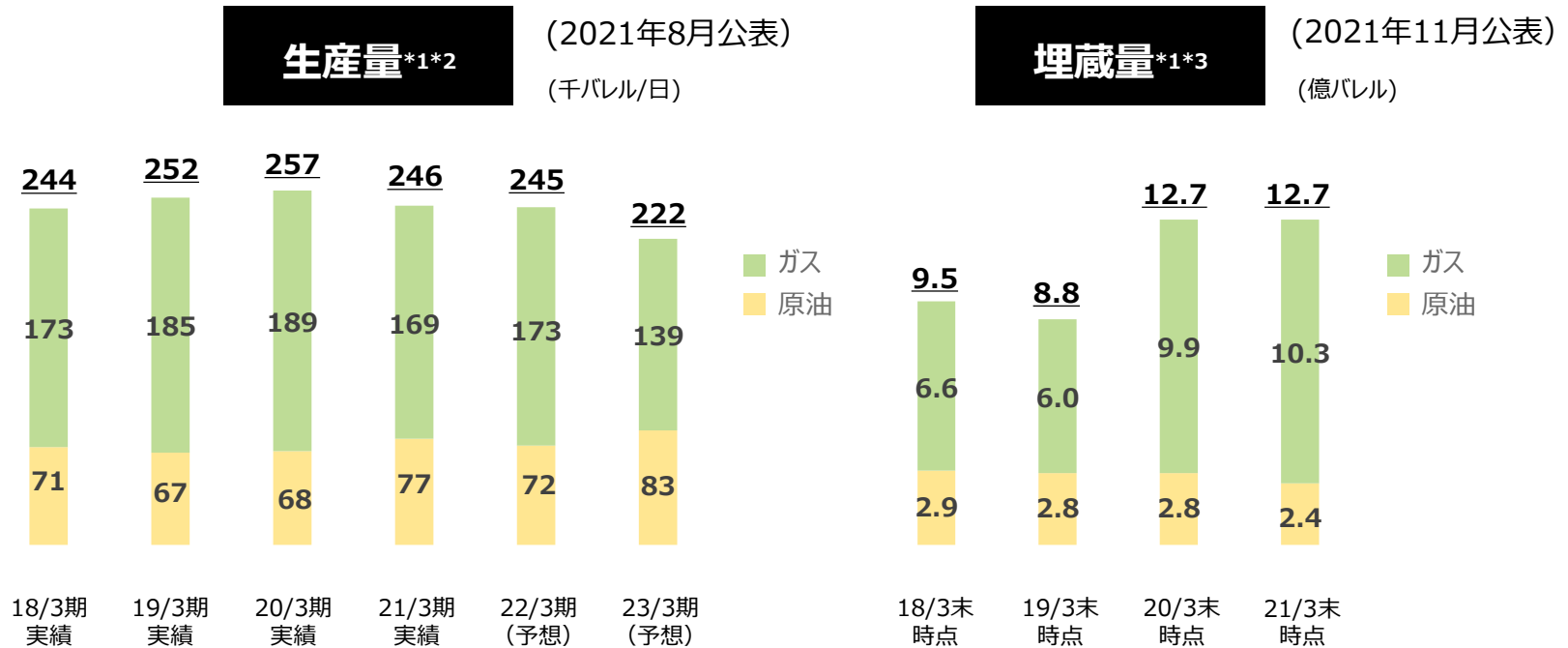
*3. 生産能力ベース

*4. 2021年3月末時点

*5. 22/3月期第1四半期に売却完了

*6. 2021年9月末時点

エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



- *1. 石油換算
当社連結子会社・関連会社・一般出資先の当社権益保有見合い
- *2. 一部プロジェクトでは当社持分販売量を適用
- *3. 当社独自の基準による

エネルギー：主な事業一覧（生産中アセットのみ）

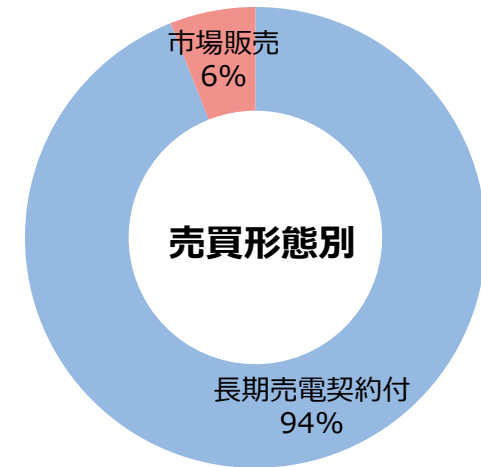
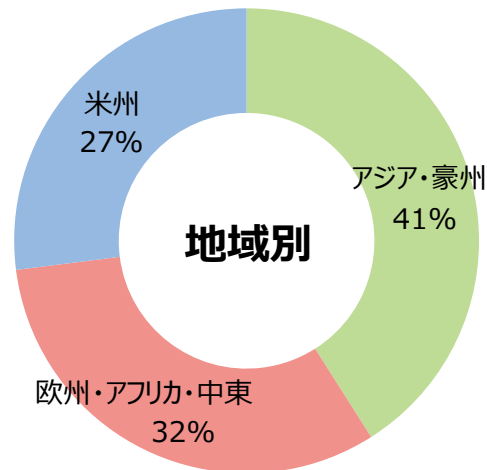
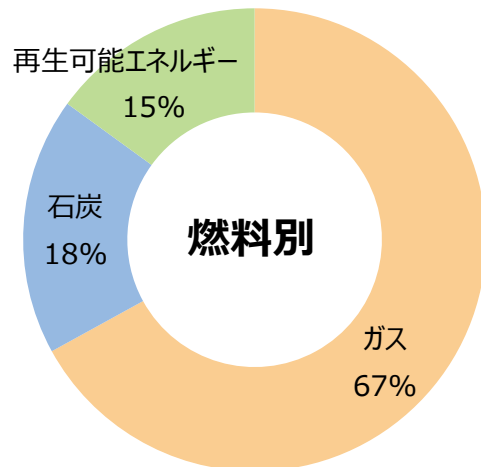
(2021年9月末現在)

商品	プロジェクト名	株主構成/権益保有者 *: オペレーター、青：当社参画Entity	LNG:生産能力 E&P:生産実績(最新情報)	決算期	当社 収益認識
LNG	アバジ	*ADNOC(70%), 三井物産(15%), BP(10%), TotalEnergies(5%)	LNG:580万トン/年	NA	受取配当金
LNG	カタールガス1	*QP(65%), TotalEnergies(10%), EM(10%), MILNED(7.5%), 丸紅(7.5%)	LNG:960万トン/年	3月	受取配当金
LNG	カタールガス3	*QP(68.5%), ConocoPhillips(30%), 三井物産(1.5%)	LNG:780万トン/年	3月	受取配当金
LNG	オマーン	*MOG(51%), Shell(30%), 三井物産(2.77%), 他	LNG:710万トン/年	12月	受取配当金
LNG	赤道ギニア	*Marathon(60%), Sonagas(25%), 三井物産(8.5%), 丸紅(6.5%)	LNG:370万トン/年	12月	受取配当金
LNG	サハリンII	*Gazprom(50%+1株), Shell(27.5%-1株), MSH(12.5%), 三菱商事(10%)	LNG:1,160万トン/年	12月	受取配当金
LNG	North West Shelf (NWS)	*Woodside, MIMI [三井物産/三菱商事=50:50], Shell, BP, BHPB, Chevron(各16.7%)	LNG:1,690万トン/年 LPG:46万トン/年 原油/コンデンセート:97千BD	12月	持分法
LNG	タンゲー	*BP(40.2%), MI Berau [三菱商事/INPEX=56:44](16.3%), KG Berau [JOGMEC/三井物産/三菱商事/INPEX/JX=49.2:20.1:16.5:14.2](8.6%), KG Wiriagar [三井物産](1.4%), 他	LNG:760万トン/年 原油/コンデンセート:6千BD	12月	持分法/連結
LNG	キヤメロン	*Sempra(50.2%), 三井物産, TotalEnergies, [三菱商事/NYK](各16.6%)	LNG:1,200万トン/年	12月	持分法
E&P	MOECO/タイ沖	*Chevron, *PTTEP, MOECO(18.2%)	ガス/原油/コンデンセート:400千BD	12月/ 3月	連結/持分法/受取配当金
E&P	MEPME/Block9	*Occidental(50%), OQ(45%), MEPME(5%)	NA	12月	連結
E&P	MEPME/Block27	*Occidental(65%), MEPME(35%)	NA	12月	連結
E&P	MEPME/Block3&4	*CCED(50%), Tethys(30%), MEPME(20%)	NA	12月	連結
E&P	MEPUK/Alba	*Ithaca Energy(23.4%), MEPUK(13.3%), 他	原油:8千BD	12月	連結
E&P	MEPIT/Tempa Rossa	*TotalEnergies (50%), Shell(25%), MEPIT(25%)	NA	12月	連結
E&P	MEPAU/Greater Enfield	*Woodside(60%), MEPAU(40%)	NA	12月	連結
E&P	MEPAU/Kipper	*EM(32.5%), BHP(32.5%), MEPAU(35%)	NA	12月	連結
E&P	MEPAU&AWE/Casino, Henry, Netherby	*Cooper(50%), AWE(25%), MEPAU(25%)	ガス/コンデンセート:5千BD	12月	連結
E&P	MEPAU/Meridian	*WestSide(51%), MEPAU(49%)	ガス:7千BD	12月	連結
E&P	MOEX North America/Kaikias	*Shell(80%), MOEXNA(20%)	NA	12月	連結
E&P	MEPTX/Eagle Ford	*Mesquite(50%), KNOC(25%), Venado Oil&Gas (12.5%), MEPTX(12.5%)	ガス/コンデンセート/NGL:81千BD	12月	連結
E&P	MEPUSA/Marcellus	*Chesapeake(32.5%), EQT(32.5%), Equinor(15.5%), MEPUSA(11%), 他	ガス:3,032MMCF/D	12月	連結

発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**11.0GW**
（グロス容量：40GW）

（2021年9月末現在）



評価性/特殊要因明細

(単位：億円)

21/3期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
金属資源					
Moatize・Nacala減損	▲41	▲156	▲391		▲589
その他		▲17	▲29	▲3	▲49
合計	▲41	▲173	▲420	▲3	▲637
エネルギー					
米国子会社再編DTA			390		390
MEPIT/Tempa Rossa減損			▲234	59	▲175
MEPAU減損等				▲115	▲115
その他	▲12	▲10		▲13	▲35
合計	▲12	▲10	156	▲69	65
機械・インフラ					
IPP関連:電力契約時価評価	▲4	▲7	7	4	0
鉄道車両リース減損		▲49	▲42	2	▲89
Moatize・Nacala減損	▲10	▲39	▲98		▲147
英国旅客輸送損失				▲110	▲110
その他		▲5	▲31	▲39	▲75
合計	▲14	▲100	▲164	▲143	▲421
化学品					
その他	19	6	60	8	93
合計	19	6	60	8	93
鉄鋼製品					
その他		2	▲1	2	3
合計	0	2	▲1	2	3
生活産業					
IHH印子会社暖簾減損	▲25				▲25
ファッション事業/評価損・DTA取崩				▲14	▲14
その他	8		▲8	27	27
合計	▲17	0	▲8	13	▲12
次世代・機能推進					
土地の減損損失戻入益			43		43
土地保有関連の税金引当取崩			19		19
その他			▲12		▲12
合計	0	0	50	0	50

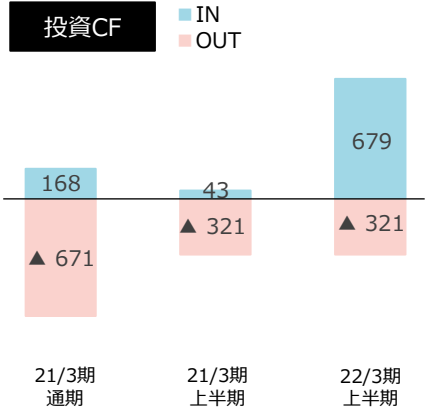
22/3期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
金属資源					
Collahuasi投資再編	62				62
その他	▲5	8			3
合計	57	8			65
エネルギー					
MOECO M3減損		▲34			▲34
その他	▲32	▲7			▲39
合計	▲32	▲41			▲73
機械・インフラ					
IPP関連:電力契約時価評価	▲4	6			2
その他	▲2	▲25			▲27
合計	▲6	▲19			▲25
化学品					
その他		▲7			▲7
合計	0	▲7			▲7
鉄鋼製品					
その他					0
合計	0	0			0
生活産業					
その他	2	▲1			1
合計	2	▲1			1
次世代・機能推進					
その他	▲13				▲13
合計	▲13	0			▲13

4 セグメント別データ

金属資源

(単位：億円)

業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	972	2,406	+1,434	↑豪鉄鉱石（販売価格の上昇） ↑豪石炭（販売価格の上昇） ↑鉄鉱石・銅（配当増）	4,400	55%	4,800
上半期利益 （評価性・特殊要因）	713 （▲214）	2,710 （65）	+1,997 （+279）		4,200	65%	4,200
売上総利益	1,006	2,106	+1,100	↑豪鉄鉱石（販売価格の上昇） ↑豪石炭（販売価格の上昇）			
持分法損益	302	675	+373	↑豪鉄鉱石（販売価格の上昇） ↑銅鉱山（販売価格の上昇）			
受取配当金	202	807	+605	↑Vale・豪鉄鉱石（配当増）			
販管費	▲332	▲151	+181	↑（前年同期）モアティーズ炭鉱事業における減損			
その他	▲465	▲727	▲262				
総資産	25,665*1	25,140	▲525				



主な投融資/リサイクル案件
 (IN) 銅事業貸付金回収+576
 (OUT) 豪州鉄鉱石事業▲219
 豪州石炭事業▲100

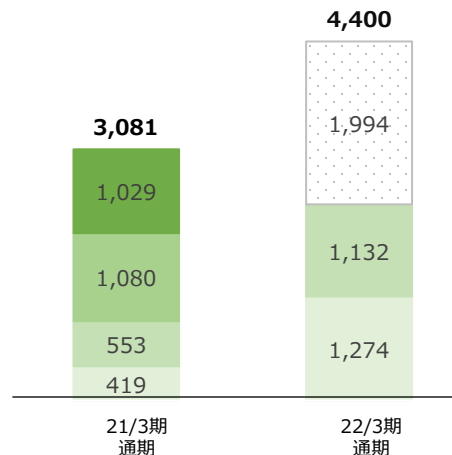
主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*3	892	1,743	+851	2,242
	豪州石炭事業*3	▲47	72	+119	▲58
持分法	Moatize炭鉱・インフラ事業*4	▲267	-	+267	▲779
	Oriente Copper Netherlands	▲16	56	+72	▲15
	Japan Collahuasi Resources	52	196	+144	147
	オールドス電力冶金	26	64	+38	74

四半期推移

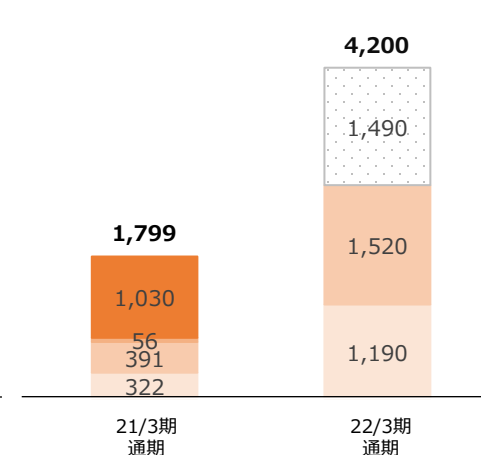
基礎営業CF

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



四半期利益

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



*1. 21/3末

*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率

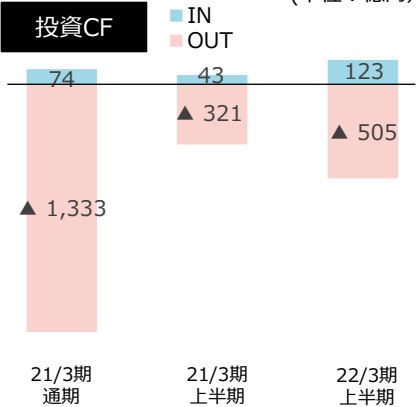
*3. 一部損益は持分法により取込

*4. 22/3期1Qに売却済み

エネルギー

ガス価格上昇を主因に、PATを上方修正

(単位：億円)

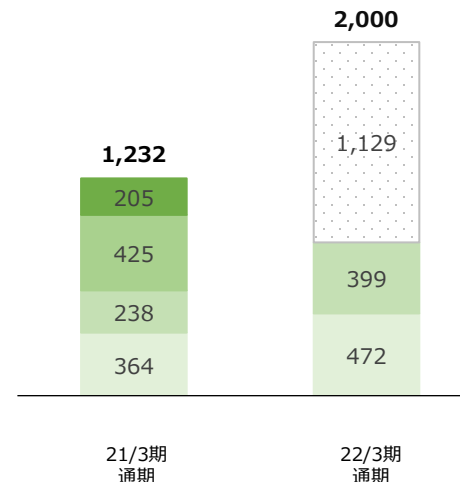


主な投融資/リサイクル案件
(OUT) 石油・ガス生産事業▲183
開発中LNG案件 (Area1) ▲165
発電事業

四半期推移

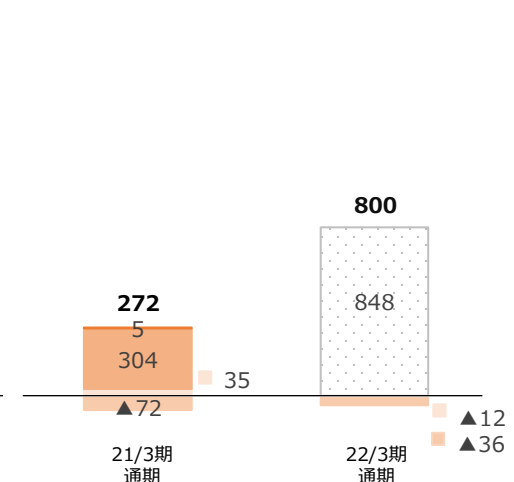
基礎営業CF

1Q 2Q 3Q 4Q 見通し



四半期利益

1Q 2Q 3Q 4Q 見通し



業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	602	871	+269	↑原油・ガス価格上昇 ↑LNG6案件からの配当増	2,000	44%	2,000
上半期利益 (評価性・特殊要因)	▲37 (▲22)	▲48 (▲73)	▲11 (▲51)		800	0%	700
売上総利益	333	239	▲94	↓LNG・石油トレーディング関連収益減			
持分法損益	110	144	+34				
受取配当金	43	168	+125	↑LNG6案件からの配当増			
販管費	▲235	▲250	▲15				
その他	▲288	▲349	▲61				
総資産	25,663*1	26,573	+910				

主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	三井石油開発*3	19	▲77	▲96	27
	Mitsui E&P Australia	▲28	▲10	+18	▲100
	AWE	▲9	9	+18	▲12
	Mitsui E&P USA	▲1	72	+73	19
	MEP Texas Holdings	▲9	14	+23	▲4
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	71	7	▲64	79
持分法	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲3	0	+3	▲6
	Mitsui & Co. LNG Investment USA	18	74	+56	89
	Japan Australia LNG (MIMI)*4	-	-	-	-
	Japan Arctic LNG	▲14	▲41	▲27	▲60

*1. 21/3末 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率

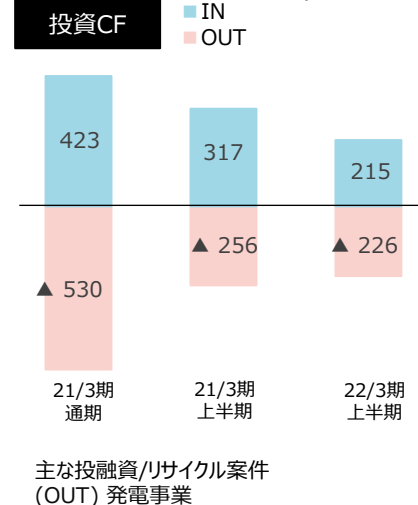
*3. 一部損益は持分法により取込 *4. 守秘義務契約により業績非開示

機械・インフラ

自動車関連会社からの受取配当金増と自動車・船舶事業好調を主因に、COCF・PATを上方修正

(単位：億円)

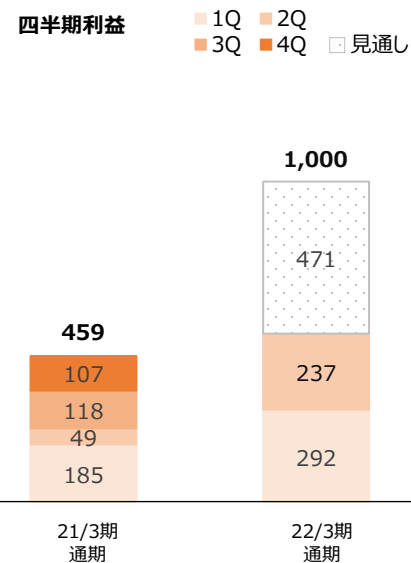
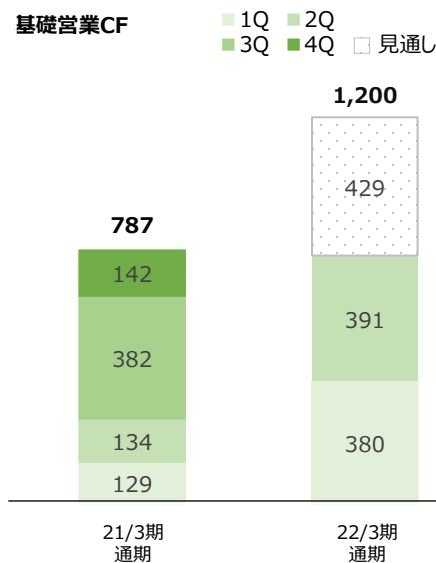
業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	263	771	+508	↑持分法関連会社の配当増	1,200	64%	1,000
上半期利益 (評価性・特殊要因)	234 (▲114)	529 (▲25)	+295 (+89)		1,000	53%	800
売上総利益	483	669	+186	↑自動車関連子会社における増益			
持分法損益	418	680	+262	↑北米中心に自動車・商用車事業好調			
受取配当金	22	28	+6				
販管費	▲613	▲613	0				
その他	▲76	▲235	▲159	↓墨発電事業の売却に伴う減損 ↓(前年同期)北米発電事業の売却益			
総資産	22,913*1	23,382	+469				



主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	5	12	+7	22
	鉄道車両リース事業会社*3	▲49	9	+58	▲92
	産機・建機関連事業*3	24	36	+12	77
持分法	IPP事業関連会社	134	131	▲3	276
	FPSO/FSOリース事業関連会社	42	41	▲1	71
	ガス配給事業	19	37	+18	68
	Penske Automotive Group	17	95	+78	95
	MBK USA Commercial Vehicles	22	117	+95	107
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	9	34	+25	36
	VLI	▲4	▲29	▲25	0

四半期推移



*1. 21/3末 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率

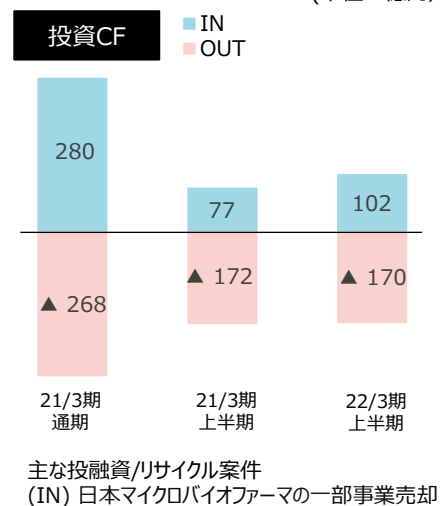
*3. 一部損益は持分法により取込

化学品

原料コスト増あるも製品市況堅調による事業会社とトレーディング好調を主因に、COCF、PATを上方修正

(単位：億円)

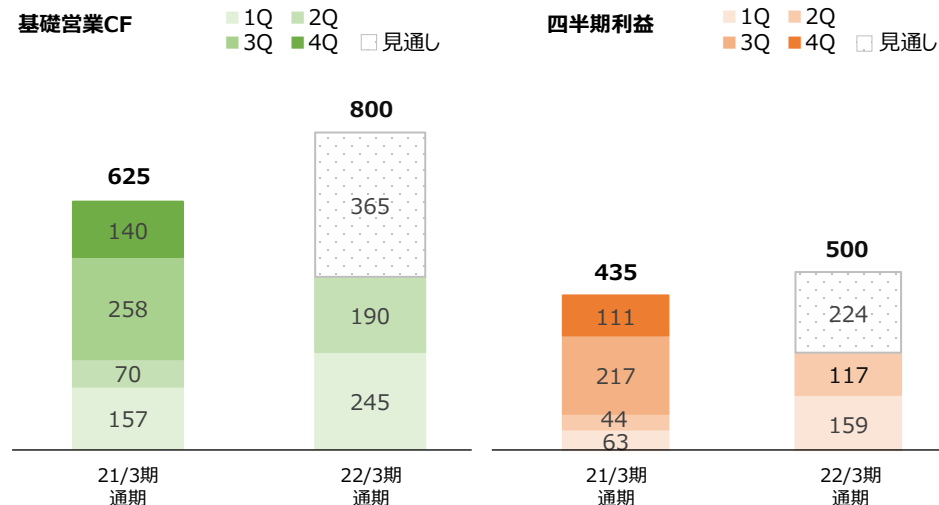
業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	227	435	+208	↑トレーディング事業・製品市況堅調	800	54%	550
上半期利益 (評価性・特殊要因)	107 (25)	276 (▲7)	+169 (▲32)		500	55%	400
売上総利益	585	860	+275	↑欧州農薬販社Belchim連結化 ↑メタノール市況上昇			
持分法損益	26	102	+76				
受取配当金	13	16	+3				
販管費	▲477	▲572	▲95	↓欧州農薬販社Belchim連結化			
その他	▲40	▲130	▲90				
総資産	13,455*1	14,664	+1,209				



主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	MMTX	3	34	+31	17
	三井物産プラスチック	14	21	+7	33
	Novus International	▲13	▲11	+2	▲31
	海外農薬事業	30	28	▲2	39
持分法	日本アラビアメタノール	1	13	+12	7

四半期推移



*1. 21/3期末

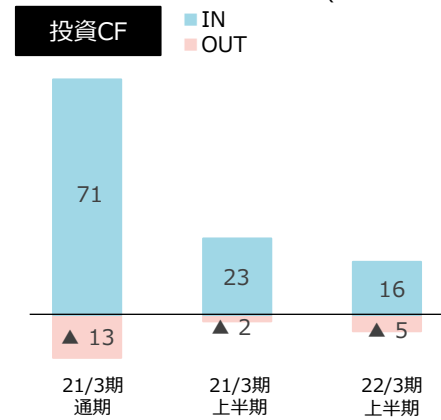
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率

鉄鋼製品

鋼材市況の回復と事業会社の稼働率改善を主因に、COCF・PATを上方修正

(単位：億円)

業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	▲5	54	+59		100	54%	50
上半期利益 (評価性・特殊要因)	▲58 (2)	122 (0)	+180 (▲2)		200	61%	100
売上総利益	96	162	+66	↑トレーディング堅調			
持分法損益	▲45	128	+173	↑自動車生産回復による事業会社の操業率の改善			
受取配当金	8	8	0				
販管費	▲116	▲121	▲5				
その他	▲1	▲55	▲54				
総資産	5,660*1	6,051	+391				



主な投融資/リサイクル案件

—

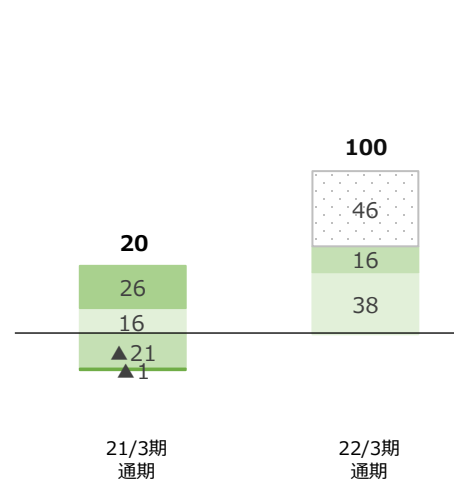
主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	三井物産スチール*3	17	40	+23	39
持分法	日鉄物産*4	11	-	-	28
	Numit	2	55	+53	25
	GRI Renewable Industries	4	7	+3	13
	Gestamp事業会社	▲73	1	+74	▲67

四半期推移

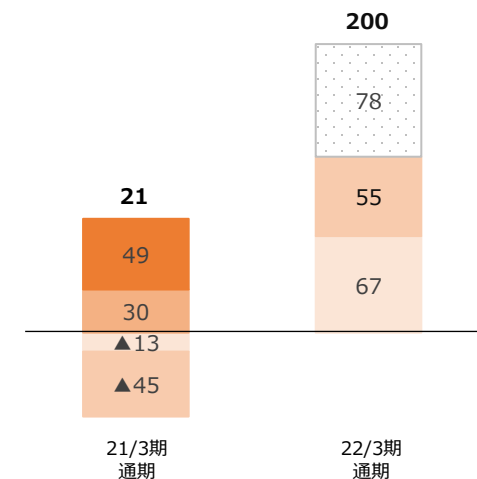
基礎営業CF

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



四半期利益

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し

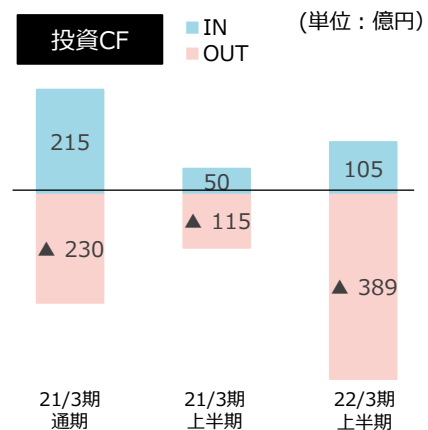


*1. 21/3末
 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
 *3. 一部損益は持分法により取込
 *4. 上場会社の決算発表前により業績非開示

生活産業

PHCホールディングス株式の一部売却や食料トレーディングをはじめとした食料・流通事業堅調を主因に、PATを上方修正

業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	13	221	+208	↑ファッション・国内流通事業回復、 食料トレーディング堅調 ↑インド病院事業売却	300	74%	300
上半期利益 (評価性・特殊要因)	▲119 (▲17)	209 (1)	+328 (+18)		400	52%	200
売上総利益	587	690	+103				
持分法損益	▲31	229	+260	↑病院・ヘルスケア事業増益（前年同期コロナ影響及び減損の反動、コロナ関連サービス増・コスト削減） ↑大豆油相場上昇及び外食向け需要回復によるWILSEY FOODS増益			
受取配当金	25	23	▲2				
販管費	▲656	▲656	0				
その他	▲44	▲77	▲33				
総資産	20,093*1	22,402	+2,309				



主な投融资/リサイクル案件
(IN) 日本マイクロバイオファーマの一部事業売却
(OUT) CT Corp持株会社の転換社債引受

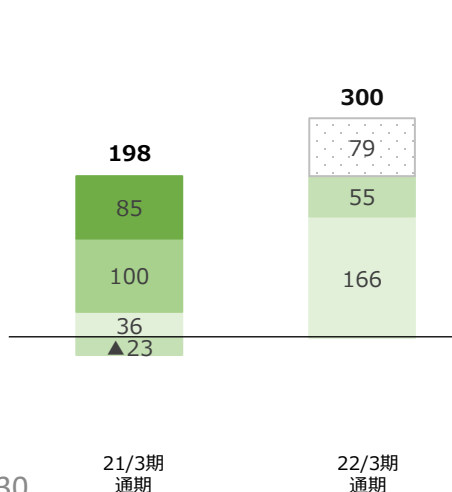
主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	国内流通関連事業会社	11	12	+1	42
	ファッション事業	▲31	5	+36	0
持分法	DM三井製糖ホールディングス	6	6	0	6
	WILSEY FOODS	5	35	+30	28
	IHH Healthcare	▲36	67	+103	16
	PHCホールディングス*3	-	-	-	30
	エームサービス	▲1	8	+9	9
	Mit-Salmon Chile	▲22	4	+26	▲28

四半期推移

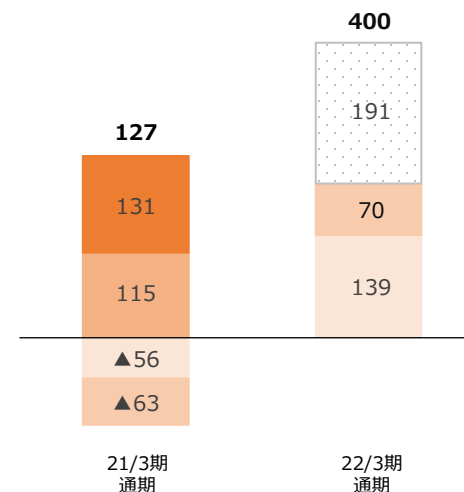
基礎営業CF

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



四半期利益

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し

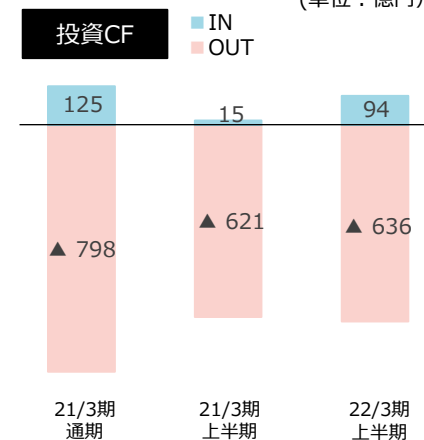


次世代・機能推進

FVTPL益を主因に、COCF・PATを上方修正

業績	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	増減理由	22/3期 通期業績予想	進捗率*2	22/3期 従来予想
基礎営業CF	309	266	▲43		400	67%	300
上半期利益 (評価性・特殊要因)	240 (0)	308 (▲13)	+68 (▲13)		400	77%	300
売上総利益	575	536	▲39	↓FVTPL益の減少			
持分法損益	40	111	+71				
受取配当金	31	24	▲7				
販管費	▲321	▲340	▲19				
その他	▲85	▲23	+62				
総資産	11,918 ^{*1}	14,567	+2,649				

(単位：億円)

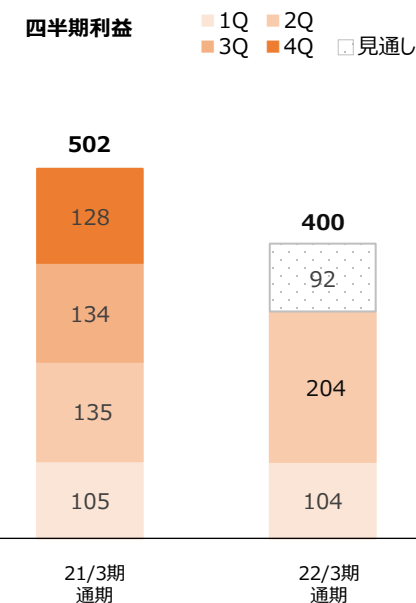
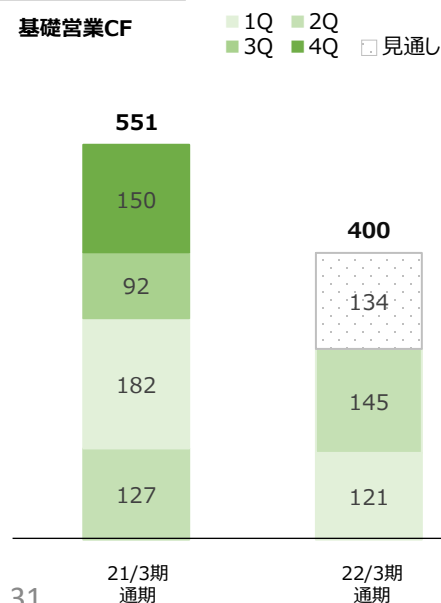


主な投融資/リサイクル案件
(OUT) CT Corp持株会社の転換社債引受
三井物産都市開発の不動産事業▲126

主要関係会社業績

	会社名	21/3期 上半期	22/3期 上半期	増減	21/3期 通期
連結	三井情報	20	13	▲7	51
	三井物産グローバルロジスティクス	14	18	+4	24
	Mitsui Bussan Commodities	33	15	▲18	48
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	11	9	▲2	18
	三井物産都市開発	10	11	+1	23
	海外不動産事業	▲11	▲14	▲3	5
持分法	QVC ジャパン ^{*3}	-	-	-	64
	JA三井リース	▲2	21	+23	17
	SABRE INVESTMENTS ^{*3}	-	-	-	-

四半期推移



*1. 21/3末 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率

*3. 守秘義務契約により業績非開示

360° business innovation.



MITSUI & CO.